

地域企業の成長戦略に関するケーススタディと企業家教育－後志地域と先進事例の比較分析－

プロジェクト代表者：加藤敬太

1. プロジェクトの目的・概要

本プロジェクトの目的は、地域企業の成長戦略のメカニズムを明らかにすると同時にその成果を地域企業家への企業家教育に活用することである。とくに本研究では、後志地域の地域企業家への研究成果のフィードバックならびに企業家教育を念頭に進めていく。具体的には、後志地域の地域企業と道内ならびに道外の地域企業の先進事例の比較ケーススタディを行ったうえで、論稿等の発表ならびに学部・大学院の授業や研究会を通じて企業家教育を行っていく。

2. プロジェクトの進捗状況について（～H28.10）

本プロジェクトは、これまでに、研究対象とする道内外の地域企業に対しインタビュー調査を含むデータ収集を実施してきており、現在収集したデータの精査および理論化に取り組んでいる段階である。また、一部の事例に関しては既に研究成果として論文公表に至っている（加藤敬太・笹本香菜（2016b）「北海道テレビ放送におけるドメイン戦略－地方テレビ局から地域メディアへの転換とドメイン・コンセンサス－」『経済論叢』（京都大学）第190巻，第1号（近刊））。さらに、学部授業および大学院授業では、各事例をケーススタディとして紹介し、学生に対するフィードバックを随時行っている。

3. 今後の取組予定について

今後の取組み予定としては、ケーススタディの成果を適宜、学会報告および論文公表し仮説の検証と理論化に取り組んでいく。また、本プロジェクトは、地域の企業家育成・企業家支援、企業家教育に関して実績のある「トーマツベンチャーサポート(株)」札幌オフィスが協力者として加わっている。同社とは、本事業で得られた調査・研究成果を共有し、地域企業家へのフィードバックを試みると同時に研究成果報告会（研究会）の開催を検討中である。